

第8回

キャンパスベンチャーグランプリ全国大会

ICTタグを利用したタンブラー利用促進事業

慶応義塾大学大学院

竹 康宏さん



竹さん

私たちの「飲む」を支えるペットボトルは大変便利な容器です。しかし、その消費量は年々増加し、その陰にはリサイクルできずにゴミになる問題があります。洗って何度でも使える水筒やタンブラーのように水筒に飲料が

文部科学大臣賞 テクノロジー部門大賞

ホームレスを生み出さない日本への変革のためのHUBchar i事業

大阪市立大学
関西学院大学
立命館大学

川口 加奈さん
竹内 里菜さん
前鶴 陽子さん
松本 浩美さん
下中 絵里加さん



川口さん

私(川口さん)は14歳からホームレス問題の解決を目指し、講演や炊き出し活動を行ってきました。しかし、目の前で凍死や餓死は無く問題の根本から解決しては、特定非営利活動法人(NPO法人)Homedoorを設立しました。そして、ホームレスの方が自転車修理を得意とすることから「シェアサイクル・HUBchar i(ハブチャリ)」事業を発案。これにより、大阪の2大問題である生活保護・ホームレス問題と放置自転車問題の解決を目指します。

また、シェアサイクルは大阪市内に点在するいくつかのポートのどこで自転車も借りても、返しても良いレンタサイクルの進化版です。生活保護受給者は清掃や自転車修理などの仕事をしながら学生スタッフと二人三脚で自立を目指します。

◆プラン概要 自転車シェアシステムでホームレスの雇用を創出し、自立を支援。街中のポートに自転車を設置し、どのポートに借りても返しても良い。放置自転車の問題解決と地域活性化にも貢献。ホームレスの社会への参加、就労基礎能力獲得を目指す。

経済産業大臣賞 ビジネス部門大賞

● 本社主催 ●

日刊工業新聞社は3月8日、東京・霞が関の東海大学校友会館で「第8回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)全国大会」を開催した。CVGは全国8エリアで開催し、各エリア大会のグランプリ・準グランプリの受賞者14組が全国大会でグランプリを競った。学生はテクノロジーとビジネス部門に分かれプレゼンテーションを行い、審査員にプランの実現性や新規・独創性、ビジネス実現への熱意を伝えた。応募総数約1100件の中から、経済産業大臣賞・ビジネス部門大賞は大阪市立大学の川口加奈さん、文部科学大臣賞・テクノロジー部門大賞は慶応義塾大学大学院の竹康宏さんが選ばれた。

講評



審査委員長 一柳 良雄氏

挑戦したくなる社会へ
意欲的な学生を後押し

いま、日本の経済社会は大きな節目にあり、つ風潮があり、成功者の中、何もしないで衰退するの、チャレンジで活路を見いだすのか、挑戦しようという気持ちにしようという気持ちはありません。最近の若者について「安定志向で挑戦しない」とよく語られます。しかし、そうした環境をつくってしまつたのは私たち、大人です。

集まってくれます。このプランを実行し、具体的な表現してほしい。大人の応援し、育てなければなりません。功の反対は失敗で、今回の審査で気になった点があります。ア

ランが中心の机上のプランが目立ったこと。ペーパービジネスは、インベション力とマーケティング力が不可欠です。できる部分から、意欲的な学生を後押ししたいと志と実行力が感じら

その中で、ビジネス部門大賞には大阪市立大学の川口君のプランを選びました。「ホームレス問題を根本から変えたい」という強い志と実行力が感じら

自立させる大きな仕組みにまで発展させようという現代のビジネスに不可欠なことをきちんと実践していま

ランは情報通信技術(ICT)の活用だけでなく、飲料メーカーなどのアイディアを実現している熱意と実行力を高く評価しました。

審査委員会

- ◆委員長 一柳 良雄氏 一柳アソシエイツ社長、日本ベンチャー学会理事
- ◆委員
- 坂本 里和氏 経済産業省経済産業政策局新規産業室新規事業調整官
- 寺崎 智宏氏 文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課課長補佐
- 首藤 健次氏 関東ニュービジネス協議会副会長、マザーズシステム・ジャパン社長
- 南 努氏 大阪府立産業技術総合研究所所長
- 近藤 邦治氏 起業支援ネット評議員
- 上野 祐子氏 上野流通戦略研究所社長
- 寺園 晃二氏 TDK テクノロジーグループ技術企画部主幹
- 渡辺 弘之氏 日本マイクロソフト デベロッパー&プラットフォーム統括本部アカデミックテクノロジー推進部アカデミックエバンジェリスト
- 川原 洋氏 日本MITエンタープライズフォーラム理事

特別賞の説明

◆TDK賞

東京工業大学の加藤与五郎博士と武井武博士が発明した磁性材料フェライトに注目し、工業化したことで知られるTDK、さまざまな電子部品・材料を世の中に送り出し、エレクトロニクス社会の発展に寄与したベンチャー企業の元祖といえる存在、「創造によって文化、産業に貢献する」を社是、「夢、勇気、信頼」を社訓にしている。

◆マイクロソフト賞

世界最大のソフトウェア会社となったマイクロソフト。ベンチャービジネスの可能性を世に知らしめ、創業者のビル・ゲイツ氏はアメリカカン・ドリーの体現者として起業家の目標であり続けている。日本法人の日本マイクロソフトは社会への貢献、企業市民活動に力を入れている。次世代のITベンチャーを育てるため、独自のアイデアを持つ学生に「MIT賞」を贈る。

◆MIT賞

米マサチューセッツ工科大学(MIT)の卒業生が中心となって組織した特定非営利活動法人(NPO法人)の日本MITエンタープライズフォーラム。日本の産業が活力を生み出すため、経験豊かな大学教授や会社経営者によるセミナー、派遣指導などを通じて起業支援、起業家の育成に取り組んでいる。国際感覚なども加味した独自の視点から、グローバルに競争できる強いビジネスプランに「MIT賞」を贈る。

毎日、TDKのエコと暮らしています。

スマートフォンと「ECO LOVE」製品

エアコン/冷蔵庫と「ECO LOVE」製品

フラットテレビと「ECO LOVE」製品

太陽光発電/風力発電システムと「ECO LOVE」製品

LEDと「ECO LOVE」製品

ハイブリッドカーと「ECO LOVE」製品



TDKの環境配慮型製品の中で、環境負荷低減効果が高いものを「ECO LOVE」、またさらに効果が高く業界トップレベルのものを「SUPER ECO LOVE」と名づけました。

クルマや家電、ケータイのエコを支えるTDKの「ECO LOVE」製品。素材のグリーン調達から省資源、省エネ、有害物質の使用禁止、リサイクルまでライフサイクル全般での環境性能を高めています。毎日の暮らしの中で、見えないけど大きな役割をはたすTDK。これからも、知恵と技術で、ひとつ上のエコへ。

小さなエコします。
大きなエコになります。TDK